



会報

東京都中学校長会

平成30年6月12日

第395号

発行 東京都中学校長会
会長 小澤 雅人
〒105 港区西新橋1-22-13
-0003 全日本中学校長会館202号
電話 03 (3504) 8705
FAX 03 (3504) 8706

〈巻頭言〉

構想し創造する学校の姿を目指して

会長 小澤 雅人
(杉並区立阿佐ヶ谷中学校)

平成30年度東京都中学校長会総会から早1ヶ月余りが経ち、今年度の中学校長会の活動が本格的になりました。先の総会にて、会員の皆様より頂いたご承認の声をエールとして、新鮮な気持ちで校長会の諸活動に取り組んでいるところです。

先日、本校の生徒会総会において今年度の活動方針の討議後に、生徒会活動の活性化の取り組みとして全生徒による「コミュニケーション」をテーマとした全体討議が行われました。その際に、生徒会長から「自分の言葉で伝え合うことを実践していきましょう」との提案がなされ、今年1年間の活動のテーマとなりました。

新学習指導要領で、「主体的・対話的で深い学び」の実現が大きなテーマとなっています。『主体的な学び』は、興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動の振り返りにつなげていく学び。

『対話的な学び』は、子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び。以上の二点は、言語活動の充実を図る現学習指導要領でも実践されています。

第三点目の『深い学び』をどのように捉え、実践し子供たちの学びとしていくかが、大きな課題だと考えています。

文部科学省の補足資料において、『深い学び』とは、各教科等で習得した概念や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせ、問いを見いだして解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう、とされています。

そこで、我々教師が、どのように考え、どのような学びの姿をイメージできるかが鍵になるといえます。

一方、人工知能(AI)が進化して、人間が活躍できる職業はなくなるのではないかと。今学校で教えていることは、時代が変化したら通用しなくなるのではないかと。この2点が、子供たちが迎え

ていく未来社会を不確実なものとする要因となっています。

AIは、人間より格段に記憶する能力をもっています。作業能力も、人間のそれを遙かに凌ぐ能力をもっています。しかし、意思を持ち、知識を活用し考え抜く力は、人間であるからで

きることで、AIに使われることを前提とする人間の姿を思い描くことではなく、AIを使いこなす人間の姿を描いていくことが重要です。このことを、我々教師がどのように思い描けるかが、これからの教育の前提となるといえます。

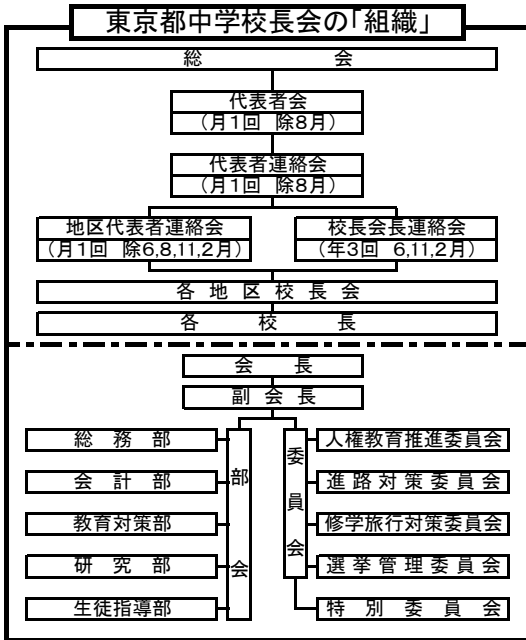
人が人である意味は、そこに言葉を介したコミュニケーション、文字を使った伝達があるかだと思えます。スマートフォンやタブレットを使い、音声入力による文字変換や、映像による伝達はすでに日常化しています。実際の会話や電話などによる意思伝達から、SNS、メールなどの音声以外の手段も日常化しています。しかし、自ら考える場面では、必ず頭の中を巡るのは言葉です。言葉を介し物事を考えることを行うのは、人間がもつ唯一の特性です。そして、そこに意思が存在しています。

人間が主体的にAIに意思を持って指示を与え、AIがもたらすデータや情報を基に意図的に考えていく力を育てていくことが、AIを使いこなす子供たちの未来のあるべき姿だといえます。

そのために、考えること、考えていく姿勢を子供たちに養うことが『深い学びの』への糸口だと考えます。我々教師が考えることを厭わず、とことん考え抜き、創造していく学校となることが問われていると考えています。



平成30年度 東京都中学校長会の組織と取組



東京都公立中学校の学校経営の現状と課題

- ◎教育課程編成の現状と課題
 - ◎基礎基本定着のための指導工夫改善
 - 少人数習熟度別指導の実施・・・78%
 - ◎指導力・判断力を高める指導の充実
 - ICTの活用・・・38% 外部人材の活用・・・17%
 - ◎「特別の教科道徳」の実施
 - 教職員の指導力の向上・・・67% 評価の在り方・・・67%
- ◎教職員の勤務実態からみられる現状と課題
 - ◎教職員の平均在校時間
 - 校長・・・10.8時間 副校長・・・12時間 教員・・・11.5時間
 - ◎1週間の在校時間が60時間を超える
 - 教員・・・68% 副校長・・・79%
 - ◎授業日以外の土曜日の在校時間
 - 校長4.5時間 副校長5.5時間 教員5.5時間
- ◎部活の実施の現状と課題
 - ◎部活動を指導できる顧問の不足に課題がある・・・84%
 - ◎対外試合等への引率に負担がある・・・59%
 - ◎外部指導員の確保、指導力の確保が課題・・・44%

東京都中学校長会「目的」

本会は会員相互の緊密な協力のもとに、職能の向上を図り、本都中学校教育の振興発展に寄与することを目的とする。

平成30年度活動の目標

- 会員の英知を結集し、教育改革推進上の課題を明確にするとともに、課題解決に向けた取組を推進する。
- 教育水準の維持・向上を図るために、地区校長会と一体となって、都教育庁等に対して必要な教育諸条件の整備・充実を求める活動を推進する。
- 会員一人一人が、組織の一員として円滑に行動できるように、運営の一層の効率化を図りながら体制の整備に努める。
- 中学校教育の充実のために、関係機関・教育諸団体等との連携を促進し、相互協力による事業を推進する。

東京都中学校長会の課題への取組

- 1 教育課程の編成・実施に関わる取組

新学習指導要領の移行・実施の準備、適正な教育課程の編成、確かな学力の定着と授業改善、「特別の教科 道徳」の先行実施・評価のあり方、保・幼・小及び高等学校との連携
- 2 人権教育の推進

「東京都人権施策推進指針」に基づく、課題解決と各地区相互の情報交換と共有
- 3 健全育成等の推進

具体的課題の調査、課題対応と指導の研究・研修、関係機関との連携、職場体験・キャリア教育・進路指導との連携を進める他機関との連絡調整、防災教育の充実と情報収集
- 4 いじめ、不登校、その他の問題行動への取組

いじめ防止対策推進法の趣旨を踏まえた対応の徹底、スクールカウンセラーの配置とスクールソーシャルワーカーの配置の要望、SNSへの指導と関係機関と連携した予防と支援
- 5 特別支援教育の推進

予算や人事に関わる問題の取りまとめ、都教育庁との連携・協議、特別支援教育コーディネーターの人的措置等の要望、特別支援教室設置に向けた準備
- 6 進路指導、高等学校の入学選抜制度に関わる取組

進路対策委員会を中心とした課題の整理及び関係機関への要望、就職指導の充実
- 7 教育諸条件の整備及び服務・人事等に関わる取組

教育水準や教育環境の向上に向けた要望、副校長の校務改善、校長の人事構想に基づく適正な人事異動に向けた働きかけ、適正な人的措置や授業の持ち時数の改善、働き方改革に向けた教育庁との情報交換
- 8 部活動に関わる取組

適正な活動に向けた実施上の課題解決、顧問の処遇改善の働きかけ、休養日や大会の在り方
- 9 修学旅行に関わる取組

課題の把握と関係機関との協議、連合輸送の円滑な運営
- 10 学校の管理運営の課題

人事考課実施上の課題の把握や解決、研修体系やOJTの推進に関する調査研究、学校評価システムの研究、教育管理職の人材の発掘、選考制度の課題の明確化
- 11 福利厚生

福利厚生に関する啓発活動、年金制度や再任用及び非常勤教員の勤務条件等の改善

平成30年度教育庁主要施策

取組の方向1 個々の子供に応じたきめ細かい教育の充実

- ◎主要施策1. 基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上
- ◎主要施策2. 理数教育の充実

取組の方向2 世界で活躍できる人材の育成

- ◎主要施策3. 「使える英語」を取得させる実践的教育の推進
- ◎主要施策4. 豊かな国際感覚を醸成する取組の推進
- ◎主要施策5. 日本人としての自覚と誇りの涵養

取組の方向3 社会的自立を促す教育の推進

- ◎主要施策6. 人権教育の推進
- ◎主要施策7. 道徳心や社会性を身に付ける教育の推進
- ◎主要施策8. 社会的・職業的自立を図る教育の推進
- ◎主要施策9. 不登校・中途退学対策
- ◎主要施策10. 子供たち一人一人に応じた手厚い支援体制の構築

取組の方向4 子供たちの健全な心を育む取組

- ◎主要施策11. いじめ、暴力行為、自殺等防止対策の強化
- ◎主要施策12. SNS等の適正な使い方の啓発強化

取組の方向5 体を鍛え健康に生活する力を培う

- ◎主要施策13. 体力向上を図る取組の推進
- ◎主要施策14. 健康づくり推進

取組の方向6 オリンピック・パラリンピック教育の推進

- ◎主要施策15. オリンピック・パラリンピック教育の推進

取組の方向7 教員の資質・能力を高める

- ◎主要施策16. 優秀な教員志望者の養成と確保
- ◎主要施策17. 現職教員の資質・能力の向上
- ◎主要施策18. 優秀な管理職等の確保と育成

取組の方向8 質の高い教育環境を整える

- ◎主要施策19. 都立高校改革の着実な推進
- ◎主要施策20. 特別支援教育の着実な推進
- ◎主要施策21. 学校運営力の向上
- ◎主要施策22. 学校の教育環境整備

取組の方向9 家庭の教育力向上を図る

- ◎主要施策23. 家庭教育を担う保護者への支援体制の充実
- ◎主要施策24. 学校と家庭が一体となった教育活動の充実

取組の方向10 地域・社会の教育力の向上を図る

- ◎主要施策25. 地域等の外部人材を活用した教育の推進
- ◎主要施策26. 学校と地域社会が連携した教育活動の充実

東京都公立中学校の実態

平成30年4月「教育関係重要書作成資料 調査報告書」から

- ◎「学校裁量予算」が予算化されている・・・49%
- ◎インターネット環境は強化されているが利便性が課題・・・53%
- ◎平成29年度人事異動への肯定率・・・58%
- ◎平成29年度に新規採用教員が配置された・・・64%
- ◎緊急地震速報の受信システムが設置されている・・・51%
- ◎指導工夫加配教員が配置されている・・・92%
- ◎学校図書館司書が配置されている・・・63%
- ◎特別支援での学習支援等指導員が配置されている・・・65%
- ◎管理職確保に向けた管理職手当の改善・・・79%

東京都中学校長会活動方針

1 活動の指針

本会は、学校経営の責任者である校長で組織する。会員は望ましい共生社会の担い手となる子供たちを育成するために、中学校教育の充実に向けた教育改革を推進する。そのため、相互に連携・協力し、自己研鑽を深め、自らの学校経営力及び指導力の向上を図るとともに、教育諸条件の整備・充実に向けた諸活動を推進する。

2 活動の目標

- (1) 会員の英知を結集し、教育改革推進上の課題を明確にするとともに、課題解決に向けた取組を推進する。
- (2) 教育水準の維持・向上を図るために、地区校長会と一体となって、都教育庁等に対して必要な教育諸条件の整備・充実を求める活動を推進する。
- (3) 会員一人一人が、組織の一員として円滑に行動できるように、運営の一層の効率化を図りながら体制の整備に努める。
- (4) 中学校教育の充実のために、関係機関・教育諸団体等との連携を促進し、相互協力による事業を推進する。

3 課題への取組

- (1) 教育課程の編成・実施に関わる取組
 - ① 学習指導要領改訂の方向性を踏まえ、円滑で確実な移行のために必要な諸課題を整理するとともに、教育計画作成上の課題など教育課程の編成・実施の適正な在り方に関する研究を推進する。
 - ② 今日的な教育課題に対する取組等の実態調査や研究を推進し、適正な教育課程の編成・実施に資する。
 - ③ 確かな学力の定着を図るために、国や都等が実施する学力に関する調査等のデータを活用し、生徒の学習状況の実態把握を行い、授業改善に資する。
 - ④ 学力に関する調査の内容・方法・結果の公表等については、より効果的な在り方を検討するとともに、調査の趣旨に基づきその影響等に考慮しながら適正かつ慎重に行うことを国や都等に提言する。
 - ⑤ 「特別の教科 道徳」の先行実施に向けて基本的な方向性を確認し、指導と評価の在り方についての研究を推進する。
 - ⑥ 幼稚園、保育園等も視野に入れた小学校と中学校の連携、中学校と高等学校の連携について、教育課程の編成上の視点から研究し、その課題解決を図る。
- (2) 人権教育の推進
 - ① 都教育庁と密接な連携を図り、新たに策定された「東京都人権施策推進指針」に基づき、人権教育推進上の様々な課題解決に向けた研修を推進する。
 - ② 各校における人権教育に関する実践及び各地区における取組等の情報交換を行い、人権教育の一層の充実を図る。
- (3) 健全育成等の推進

- ① 健全育成に関する課題を明らかにするために、都全体の生徒指導に関する調査を行い、具体的な課題等を共有し、その解決に資する。
 - ② 研修や情報交換を通して、各地区の生徒指導・健全育成等に関する現状や課題等を共有し、各校の指導の充実と向上に努める。
 - ③ 都青少年・治安対策本部や警視庁、東京都公立中学校PTA協議会等と連携・協力し、健全育成の推進に関わる啓発活動を行う。
 - ④ 健全育成を目的として設定された職場体験の実施に当たっては、キャリア教育・進路指導との関連を重視し、実践事例などの情報の収集・提供に努めるとともに、条件整備など行政の支援体制の強化を求めている。
 - ⑤ 防災教育及び防災体制の充実に向け、各地区の情報の収集及びその提供に努める。
- (4) いじめ、不登校、その他の問題行動への取組
 - ① いじめは、どの学校でも起こり得るとの認識の下、いじめ防止対策推進法の趣旨を踏まえ、いじめ問題への対応を徹底する。そのために、本会と地区校長会や地区教育委員会等との連携を強化するとともに、いじめ問題の解決に向けた取組について紹介するなどの啓発に努める。
 - ② 子供たちの悩みの解決や不登校の解消を図るために、スクールカウンセラーの活用やスクールソーシャルワーカーの配置などの人的支援について関係機関に求めていく。
 - ③ 不登校の解消に向け、関係機関との連携の下、予防及び支援の方策についての研究を推進する。
 - ④ コンピュータネットワーク上で行われる問題行動、暴力行為等の喫緊の課題についての調査及び結果報告を継続的に実施し、生徒の健全育成に資する。また、関係機関と連携し、規範意識の向上及び問題行動の予防に向けた取組等の情報を地区校長会に紹介する。
 - (5) 特別支援教育の推進
 - ① 特別支援教育を推進する上での予算や人事に関わる問題を取りまとめ、都教育庁と連携・協議して課題の解決に努める。
 - ② 特別支援教育コーディネーターの配置や授業時数の軽減を関係機関に求めていく。
 - ③ 東京都特別支援教育推進計画（第二期）・第一次実施計画等に基づき、特別支援教室への移行・設置に向けて、都教育庁と連携・協議する。
 - (6) 進路指導、高等学校の入学者選抜制度に関わる取組
 - ① 進路対策委員会を中心に、平成31年度、公立・私立高等学校の入学者選抜制度について、都内公立中学校生徒に不利益が生じないよう、実施上の課題を整理し、その解決を図るため、都教育庁、都公立高等学校長協会及び東京私立中学高等学校協会等と

- 協同する。
- ② 進路指導及び進路事務が適切かつ円滑に行われるよう、進路対策委員会を通じ、都内公立中学校に適宜最新の情報を提供するとともに、地区校長会や地区教育委員会との連携を強化する。
- ③ 就職を希望する生徒の自己実現に向け、関係機関と連携し、就職指導の充実に向けた検討・協議を行う。
- (7) 教員の働き方改革を踏まえての教育諸条件の整備及び服務・人事等に関わる取組
- ① 教育水準や教育環境の向上に向け、地区校長会の意見を集約し、関係機関に働きかける。
- ② 校長のサービスの取扱いについて、本会及び地区校長会の活動が停滞することのないよう、活動内容の精選や重点化を図るなど、運営の工夫・改善に努める。
- ③ 副校長の校務改善については、都公立中学校副校長会と連携し、その内容や方法を検証する。
- ④ 学校経営の充実にために、校長の人事構想に基づく人事異動が適正に実施されるように、都教育庁に働きかける。
- ⑤ 学校の教育活動の充実と課題解決に資するために、再任用制度等の在り方や異動、教科間のアンバランス等について情報を収集し、適切な人的措置や授業の持ち時数等の改善が図られるように、都教育庁に働きかける。
- ⑥ 勤務時間の短縮と総授業時数の増加に伴い、教員勤務実態調査に基づき、勤務の在り方について研究し、職務内容に応じた適正な勤務時間の割り振りが可能となるように、都教育庁等に働きかける。
- (8) 部活動に関わる取組
- ① 学校教育の一環として位置付けられている部活動を適正に実施するとともに、都中学校体育連盟や都中学校文化連盟等の関係団体との連携を密にし、実施上の課題について、中学校教育の目的に則した方向性を探り、都教育庁及び地区教育委員会等と連携してその解決に努める。
- ② 部活動顧問教員等の処遇改善について、都教育庁に働きかける。
- ③ 長期休業日の短縮や土曜授業の増加傾向に伴い、望ましい大会運営の在り方を研究し、関係諸団体と共に実態に基づく課題の解決に努める。
- ④ 教員の働き方改革を踏まえて、部活動指導員等の配置促進について関係機関に働きかける。
- (9) 修学旅行に関わる取組
- ① 修学旅行実施上の課題を把握し、一層充実した修学旅行を実施するために、関係機関との協議を行う。
- ② 平成30年度修学旅行の円滑な実施のために、連合体輸送の運営にあたる。
- ③ 平成32年度修学旅行の円滑な実施を目指し、連合体輸送の立案とその具体化を図る。
- (10) 学校の管理運営の課題
- ① 人事考課を一層適切に実施するために、各校が抱える課題を把握し、都教育庁と連携・協議して課題の解決に努める。
- ② 教員の資質向上のために、研修体系の在り方やOJTの推進等について調査研究し、情報を提供する。

- ③ 各校が行う学校評価システムに関する課題について研究し、学校経営の改善や教員の資質・能力の向上に資する。
- ④ 都教育庁、地区教育委員会、都公立中学校副校長会と連携し、教育管理職を目指す人材の発掘・育成に努める。また、選考制度の課題を明確にするとともに、管理職の育成に向けた具体的な提言を行う。

(11) 福利厚生

- ① 会員が公立学校共済組合、教職員互助会等の福利厚生に関する事業や活動に積極的に取り組むように、啓発活動を行う。
- ② 年金制度や再任用・非常勤教員希望者の勤務条件等の改善・充実に努めていく。

4 組織活動

(1) 代表者会、代表者連絡会の活動

- ① 代表者会・代表者連絡会は、本会の運営及び事業についての企画立案及び会務執行にあたる。
- ② 本会の組織・運営の改善・充実にために、効率的な予算執行を図る。

(2) 地区代表者連絡会・区市等校長会長連絡会の活動

- ① 地区校長会が相互に情報の共有化と連携を図り、本会の取組を一層充実させる。
- ② 地区教育委員会独自の事業や緊急の課題について、全都的に情報を収集し、その調査結果の共有を図るとともに課題の分析を行い、地区校長会の活動の充実に資する。
- ③ 連絡会における行政説明を重視し、時宜を得た情報収集の場とする。

(3) 各部・各委員会の活動

- ① 部員総会・委員総会において、活動計画と組織づくりを行い活動内容や課題等を明確にし、課題解決に向けた取組の充実に努める。
- ② 各部・各委員会は学校運営上の諸課題への調査・研究・発表、また、課題解決への具体的な取組を行う。

(4) 校長会活動の情報化

- ① 本会のホームページの充実に努め、会員に最新の情報を提供する。
- ② メールを活用やデータベースの構築等、本会の情報化を進め、活動の効率化を図る。
- ③ インターネットを活用した効率的・効果的な調査の実施を推進する。

(5) 関係機関・教育諸団体との連携及び対応

- ① 指導部、人事部等の都教育庁各部との定期的な連絡協議会等を通して、中学校の実態に即した施策の展開に向けた提言をする。
- ② 東京都公立小学校長会、東京都公立高等学校長協会、東京都公立中学校PTA協議会等との連携を通して、校種を越えた学校教育の適正な実施を推進する。
- ③ 全日本中学校長会との連携を図り、『全日中教育ビジョン「学校からの教育改革」(改訂版)』の具現化に努める。
- ④ 中学校教育の充実に資するために、東京都中学校教育研究会をはじめとする各教育研究会等との一層の連携を図る。また、中学校教育の充実・発展に寄与してきた東京都中学校教育研究会等の活動の意義を重視し、予算や条件整備の充実に都教育庁及び地区教育委員会に働きかける。

平成30年度 東京都中学校長会

定期総会・研究発表会

■日時 平成30年4月26日(木)
午後1時30分開会

■場所 たましんRISURUホール(立川市)

(3) 新会員紹介並びに代表あいさつ
小金井市立南中学校長 塩原 真一
10 閉会のことば

- 1 開会のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 会長あいさつ 会長 岩永 章
- 4 祝辞
①東京都教育委員会教育長 中井 敬三 様
②立川市長 清水 庄平 様
- 5 来賓紹介
- 6 施策等連絡
東京都教育庁指導部義務教育指導課長
栗原 宏成 様
- 7 研究発表会
「予算・施設・人事」等に関する調査結果
について
- 8 総会
(1) 平成29年度会務報告 承認
(2) 平成29年度会計決算報告並びに基金・
益金管理状況報告、監査報告等
一括承認
(3) 会則の一部改正について 承認
(4) 旧役員代表あいさつ
前会長 岩永 章
(4) 平成30年度役員選出
(5) 新役員代表あいさつ
新会長 小澤 雅人
(6) 平成30年度活動方針 承認
(7) 平成30年度会計予算 承認
- 9 顕彰等
(1) 退職会員への感謝状並びに記念品贈呈
①東京都中学校長会より
前新宿区立新宿西戸山中学校長
岩永 章 様
②全日本中学校長会より
前港区立御成門中学校長 石鍋 浩 様
(2) 退職・退会会員代表謝
前立川市立立川第二中学校長
常盤 隆 様

■平成30年度役員■

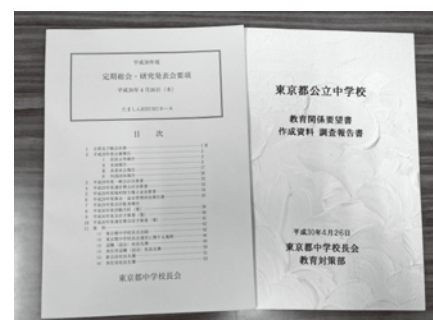
- ◇会長 小澤 雅人(杉並・阿佐ヶ谷)
- ◇副会長 上原 一夫(台東・上野)
高岡 麻美(府中・府中第三)
片倉 元次(新宿・新宿)
酒井 泰(府中・府中第五)
- ◇会計監査 新宮領 毅(大田・田園調布)
川島 清美(八王子・第三)
太田 元(東村山・東村山第三)

《各部長》

- ◇総務部 花田 茂(国分寺・第五)
- ◇会計部 石村 康代(日野・三沢)
- ◇教育対策部 千葉 正法(多摩・青陵)
- ◇研究部 新村 紀昭(練馬・上石神井)
- ◇生徒指導部 白倉 孝弘(葛飾・常盤)

《各委員会委員長》

- ◇人権教育推進委員会
並木 浩子(昭島・清泉)
- ◇進路対策委員会
茅原 直樹(江戸川・二之江)
- ◇修学旅行対策委員会
池田 富太郎(中央・佃)
- ◇選挙管理委員会
石川 俊一郎(北・田端)



5月 地区代表者連絡会報告

■ 5月 地区代表者連絡会報告

日時 平成30年5月8日（火）15時～17時

場所 新宿コズミックセンター5階 大研修室

1 会長あいさつ

○挨拶

この度、平成30年度東京都中学校長会長に就任いたしました杉並区立阿佐ヶ谷中学校の小澤雅人です。これから一年間どうぞよろしくお願いいたします。

去る4月26日の立川市「たましんRISURUホール」で開催されました平成30年度東京都中学校長会定期総会・研究発表会には、会員の約80%の参加を頂き、無事に終了することができました。開催にあたり様々なご準備をいただきました立川市を始め、昭島市、小金井市、小平市、国分寺市、国立市の第10ブロックの皆様にお礼申し上げます。

昨年度は、「中学校教育70年記念 第68回全日本中学校長会 東京大会」が開催され、無事終了することが出来ました。613名の会員の力を結集し、全国3600名の校長先生方をお迎えすることが出来ました。

○本年度の運営方針

(1) 各地区の学校経営上の課題を集約し、中学校教育の充実や活性化の視点から都教委の教育施策等への提言を行う。

①都全体を通した学校経営上の情報と課題の集約

②各地区・各中学校の経営上の情報と課題の集約

③各地区・各中学校の経営実践に関する情報の共有

④本会組織の活性化

(2) 今年度の重点事項

①教育活動に関する事項

◎新学習指導要領への移行処置の成果と課題の検証

◎安全、安心な教育環境の整備に関する取組

◎オリンピック・パラリンピック教育を含めた体力向上に関する取組

②教職員に関する事項

◎ライフ・ワークバランスを捉えた働き方改革と効率的な学校運営への取組

◎教育管理職候補者確保・育成に向けた取組

③東京都中学校教育の充実・発展に向けた関係諸団体との連携の強化

○役員・理事の役割分担

各部長・各委員長は、担当副会長との連携を密にして諸課題への対応を進めていきます。各地区からの情報提供や活発な情報交換をお願いします。

2 行政説明

○「運動部活動の在り方に関する方針について」

東京都教育庁指導部指導企画課

体育健康教育担当課長 堀川 勝史 様

○「平成30年度東京都教育庁指導部の事業について」 東京都教育庁指導部義務教育指導課長

栗原 宏成 様

① 学力向上について

② 外国語教育について

③ 道徳教育について

④ 理数教育について 他

3 連絡・報告事項

(1) 各部・各委員会より

【総務部】

・平成30年度活動の重点、内容について

・欠員調査、ホームページ刷新について

【会計部】

・次回の校長会長連絡会での集金について

【教育対策部】

・定期総会・研究発表会へ各地区からの参加に
対しての御礼と平成30年度活動内容について

【研究部】

・部会を2部制とし、2つの主題について研究

・11月22日（木）なかのZEROホール研究発表会

【生徒指導部】

・生徒指導部研修会及び協議会の開催案内について

【人権教育推進委員会】

・講演会：11月26日（月）各地区3割の動員

・都内半日研修：7月25日（水）午後を予定

【進路対策委員会】

・平成30年度立高校入試における定員割れ問題
について

【修学旅行対策委員会】

・関西方面・東北方面への修学旅行開始

・5月17日（木）全体委員会を開催

【選挙管理委員会】

・6月に第1回委員会を開催

(2) 関連団体

【全日本中学校長会】

・全日本中学校長会総会日程について

【日本教育会】

・第1回講演会開催について

4 事務局より

・会費納入等について

・平成30年度研究大会及び平成31年度総会予定
について

研究大会 平成30年11月22日（木）

総会・研究発表会 平成31年4月25日（木）

平成 30 年度

役員・校長会長・地区代表者等一覧

《会長・副会長》

| | |
|-----|-----------------|
| 会長 | 小澤 雅人 (杉並・阿佐ヶ谷) |
| 副会長 | 上原 一夫 (台東・上野) |
| 同 | 高岡 麻美 (府中・府中第三) |
| 同 | 片倉 元次 (新宿・新宿) |
| 同 | 酒井 泰 (府中・府中第五) |

《会計監査》

| | |
|----|------------------|
| 監査 | 新宮領 毅 (大田・田園調布) |
| 同 | 川島 清美 (八王子・第三) |
| 同 | 太田 元 (東村山・東村山第三) |

《各部》

| | |
|--------|------------------|
| 総務部長 | 花田 茂 (国分寺・第五) |
| 副部長 | 川崎 純一 (江戸川・小岩第一) |
| 同 | 佐藤 太 (港・御成門) |
| 同 | 麻生 隆久 (多摩・落合) |
| 同 | 江川 登 (豊島・西池袋) |
| 会計部長 | 石村 康代 (日野・三沢) |
| 副部長 | 山浦 桂子 (東久留米・下里) |
| 同 | 高橋 清吾 (日野・日野第一) |
| 教育対策部長 | 千葉 正法 (多摩・青陵) |
| 副部長 | 石代 俊則 (八王子・みなみ野) |
| 同 | 山口 茂 (国立・国立第三) |
| 研究部長 | 新村 紀昭 (練馬・上石神井) |
| 同 | 平岡 盛仁 (調布・調布) |
| 同 | 宮城 洋之 (三鷹・第三) |
| 生徒指導部長 | 臼倉 孝弘 (葛飾・常盤) |
| 副部長 | 大石 光宏 (練馬・開進第二) |
| 同 | 牧野 英一 (世田谷・三宿) |
| 同 | 村木 尚生 (稲城・稲城第五) |

《各委員会》

| | |
|-----------|-----------------|
| 人権教育推進委員長 | 並木 浩子 (昭島・清泉) |
| 進路対策委員長 | 茅原 直樹 (江戸川・二之江) |
| 修学旅行対策委員長 | 池田富太郎 (中央・佃) |
| 選挙管理委員長 | 石川俊一郎 (北・田端) |

《校長会長》

| | |
|-----|---------------|
| 千代田 | 工藤 勇一 (麹町) |
| 中央 | 平松 功治 (日本橋) |
| 港 | 高松 政則 (赤坂) |
| 新宿 | 片倉 元次 (新宿) |
| 文京 | 本郷 光一 (文林) |
| 台東 | 根岸 秀夫 (桜橋) |
| 墨田 | 浦山 裕志 (錦糸) |
| 江東 | 春名 秀夫 (深川第一) |
| 品川 | 黒田 佳昌 (鈴ヶ森) |
| 目黒 | 片柳 博文 (東山) |
| 大田 | 木崎 正和 (羽田) |
| 世田谷 | 中村 豊 (用賀) |
| 渋谷 | 斉藤 茂好 (代々木) |
| 中野 | 田代 雅規 (緑野) |
| 杉並 | 由井 良昌 (西宮) |
| 豊島 | 平本 浩実 (巣鴨北) |
| 北 | 井口 尚明 (滝野川紅葉) |
| 荒川 | 近江 貞之 (第七) |
| 板橋 | 荒井 秀樹 (赤塚第二) |
| 練馬 | 大石 光宏 (開進第二) |
| 足立 | 山崎 要 (東綾瀬) |
| 葛飾 | 黒澤 晴男 (高砂) |
| 江戸川 | 横澤 広美 (小松川第二) |
| 八王子 | 大熊 一正 (松木) |
| 立川 | 飯田 芳男 (立川第六) |
| 武蔵野 | 若槻 善隆 (第一) |
| 三鷹 | 青木 睦 (第二) |
| 青梅 | 吉田 稔 (東) |
| 府中 | 酒井 泰 (府中第五) |
| 昭島 | 長野 基 (福島) |
| 調布 | 平岡 盛仁 (調布) |
| 町田 | 大石 龍 (堺) |
| 小金井 | 大友 敬三 (東) |
| 小平 | 栗林 昭彦 (小平第一) |
| 日野 | 中村 宏 (日野第四) |
| 東村山 | 海老塚俊一 (東村山第四) |
| 国分寺 | 松本 信之 (第三) |
| 国立 | 山口 茂 (国立第三) |
| 福生 | 小出 宏 (福生第二) |
| 狛江 | 樋口 豊隆 (狛江第一) |

東大和 石井 和光 (第一)
 清 瀬 小池雄志郎 (清瀬)
 東久留米 山浦 桂子 (下里)
 武蔵村山 清水 実 (大南学園第四)
 多 摩 福田 洋一 (鶴牧)
 稲 城 牧岡 正敏 (稲城第四)
 西東京 矢野 尊久 (明保)
 西多摩 曾我 有二 (あきる野・五日市)
 大 島 松島 睦麿 (第三)
 新 島 山本 巖 (新島)
 三 宅 豎山 浩人 (三宅小)
 八 丈 大澤 道明 (三原)
 小笠原 新妻 茂 (小笠原)

《地区代表者》

千代田 障子 幹 (神田一橋)
 中 央 加藤 讓司 (銀座)
 港 石原 嘉人 (六本木)
 新 宿 久保 文人 (牛込第二)
 文 京 小椋 孝 (第九)
 台 東 平井 邦明 (忍岡)
 墨 田 杉浦 伸一 (墨田)
 江 東 栗生 忠義 (深川第八)
 " 田中 利幸 (第四砂町)
 品 川 伊藤 惠造 (荏原第六)
 目 黒 金子 弘樹 (第十一)
 大 田 鶴貝 秀明 (大森第七)
 " 笛木 啓介 (大森第三)
 世田谷 岩下 敏夫 (松沢)
 " 山田 勝基 (喜多見)
 渋 谷 橋爪 昭男 (渋谷本町学園)
 中 野 矢口 仁 (第五)
 杉 並 渡邊 仙二 (松ノ木)
 " 渋谷 正宏 (富士見丘)
 豊 島 堀 利光 (池袋)
 北 千葉 千恵 (桐ヶ丘)
 荒 川 川越 豊彦 (尾久八幡)
 板 橋 宮田 正博 (上板橋第二)
 " 宮澤 一則 (中台)
 練 馬 中嶋 雅彦 (谷原)
 " 安井 実 (八坂)
 足 立 灘山 裕子 (入谷)
 " 柏木 圭子 (第六)
 葛 飾 布施 実 (上平井)
 " 沢田 秀夫 (新宿)
 江戸川 内野 雅晶 (葛西)
 " 伏見 孝志 (小岩第四)

八王子 三田村 裕 (第七)
 " 佐藤ひろみ (横川)
 立 川 山口 真一 (立川第三)
 武蔵野 若槻 善隆 (第一)
 三 鷹 郡 吉範 (第六)
 青 梅 榎戸 淳 (第七)
 府 中 金子 善厚 (府中第七)
 昭 島 長野 基 (福島)
 調 布 高汐 康浩 (第五)
 町 田 肝付 俊朗 (山崎)
 " 花田 英樹 (町田第一)
 小金井 山中 栄治 (小金井第二)
 小 平 峯岸 貴彦 (小平第三)
 日 野 高橋 清吾 (日野第一)
 東村山 太田 元 (東村山第三)
 国分寺 石川鋭一郎 (第四)
 国 立 山上 真哉 (国立第一)
 福 生 小出 宏 (福生第二)
 狛 江 樋口 豊隆 (狛江第一)
 東大和 井上 敬夫 (第三)
 清 瀬 小池雄志郎 (清瀬)
 東久留米 藪野 勝久 (西)
 武蔵村山 井口 寛隆 (第三)
 多 摩 加納 一志 (和田)
 稲 城 牧岡 正敏 (稲城第四)
 西東京 井上 雅子 (田無第二)
 西多摩 金子 真吾 (羽村第二)
 大 島 川島 郁雄 (第二)
 新 島 宮崎 剛 (利島)
 三 宅 阿部 仁明 (三宅)
 八 丈 藤井 和重 (富士)
 小笠原 新妻 茂 (小笠原)